

平成29年度 第33回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の(1)~(5)は、「語り(素話)」について述べたものである。正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。

- (1) ストーリーテリングともいい、絵や映像などの補助を使わずに、童話や昔話、自作のお話などを聞かせることである。
- (2) 話し手の身振りや表情という要素は大切であるが、主体はことばの魅力にある。
- (3) 日本独自の児童文化財で、一つの物語の内容をいくつかの場面に区切り構成し、せりふとナレーションによって物語を聞かせていく。
- (4) 児童文学の1つの分野に位置づけられ、絵とことばの異なる要素が互いに調和して作り出す作品である。
- (5) 絵本や文学の原形といえる。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) いない いない ばあ (2) おててがでたよ (3) ころころころ
- (4) ミッピーの どうぶつ なあに (5) ノンタン もぐ もぐ もぐ
- ア ディック・ブルーナ イ 林 明子 ウ 松谷みよ子
- エ 元永定正 オ キヨノサチコ

3 次の問いに答えなさい。

- (1) ネル地の画面に不織布で作った人形や道具、背景等を配置しながら話をするを何というか。
- (2) 1歳を過ぎた頃から、「マンマ」などの意味のある単語ひとつで、自分の要求や感情などを伝えるようになる。このような言語表現を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成29年度 第34回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

- 1 次の文はお話を創作するときの留意点を述べたものである。正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。
- (1) 流行の言葉や難しい表現を多く使って、子どもの学習に結びつくように創作する。
  - (2) せりふを多く、説明を少なくして、想像しやすい情景を創作する。
  - (3) 身振りや手振りを入れやすくし、場面展開を早くする。
  - (4) 聞かせる対象者を考慮し、登場人物や動物が身近で、わかりやすい内容にする。
  - (5) お話は、ゆるやかにはじまり、その後いろいろに変化しながら山場を迎え、急速に解決に向かって結末につなげるようにする。
- 2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。
- (1) いやいやえん            (2) ふしぎの国のアリス            (3) 魔女の宅急便
  - (4) 昆虫記                    (5) 空色勾玉
- ア 萩原規子                    イ フェーブル                    ウ 中川李枝子
- エ ルイス・キャロル            オ 角野栄子
- 3 次の問いに答えなさい。
- (1) ごっこ遊びの延長線上にあり、自分が見聞きし感じたことがらを周囲の人に伝えるために、未熟な言語の力を動作などで補いながら表現する活動を何というか。
  - (2) 幼児に物やことがらを知識として知らせ、気づかせるはたらきをする絵本を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

平成30年度 第35回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は、幼児向けのお話を創作するときの留意点を述べたものである。正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。

- ア 教育的な内容を意識し、常に教訓的な内容を盛り込む。
- イ お話の内容は、聞き手が容易にイメージできるものにする。
- ウ わかりやすい言葉で、美しい日本語を使う。
- エ 場面の展開が早く、多くの内容を盛り込んだものにする。
- オ できるだけ身振りや手ぶりなどのジェスチャーを、多く入れやすいものにする。
- カ 話のリズムを作るためには、擬声語、擬態語、繰り返しなどが効果的である。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) かいじゅうたちのいるところ      (2) ラプンツェル      (3) 14ひきのあさごはん
- (4) おしゃべりなたまごやき      (5) 銀河鉄道の夜
- ア いわむらかずお      イ 寺村輝夫      ウ センダック
- エ 宮沢賢治      オ グリム

3 次の問いに答えなさい。

- (1) 「かちかち山」「さるかに合戦」「舌切り雀」「花咲爺」は日本の五大昔話である。残りの一つは何か。
- (2) お正月の凧あげやコマ回しのような、古くから日本に伝わる子どもたちの遊びのことを何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合	・	否
-----	--	---	---	---

平成30年度 第36回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は、語りの特徴について述べたものである。( )に適する語句を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 語りを聞き、情景を思い浮かべることで ( ) を育てる。
- (2) 聞き手と語り手、あるいは聞き手同士の ( ) を育てる。
- (3) 字の読めない子にも ( ) を楽しむことを可能にする。

ア 映像      イ 人間関係      ウ 基礎      エ 文学      オ 想像力

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) アリとキリギリス      (2) ぐるんぱのようちえん
- (3) ごちゃまぜカメレオン      (4) かばくん      (5) 泣いた赤鬼

ア イソップ      イ エリック・カール      ウ 浜田廣介  
エ 西内ミナミ      オ 岸田衿子

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) ネル素材の舞台に、不織布で作った人形などを貼ったり、動かしたりしてお話を展開する。
- (2) 手づかい、棒づかい、糸繰りなどの種類があり、保育現場では片手づかいが普及している。

解 答 欄

学年		受検番号		氏名	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第37回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は絵本の歴史について述べたものである。該当するものを下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 大正期から昭和期にかけて大型絵雑誌が刊行された。
- (2) 第2次世界大戦が終了した後、月刊絵本が刊行された。
- (3) 幼稚園令に新しく「観察」が保育項目に加えられ、その対応として知識絵本雑誌が作られた。

- ア コドモノクニ      イ 岩波子供の本      ウ キンダーブック  
エ こどものとも

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) しろくまちゃんのほっとけーき      (2) ははのははなし      (3) あくたれラルフ
- (4) モチモチの木      (5) おふろ だいすき

- ア ジャック・ガントス      イ わかやまけん      ウ 斎藤隆介  
エ 加古里子      オ 松岡享子

3 次の問いに答えなさい。

- (1) イギリスのバーミンガムで「識字率向上」と「本を通して赤ちゃん楽しい時間を分かち合う」ことを目的に始められた教育改革運動を何というか。
- (2) 2歳くらいになると「これ、なあに」という質問が出てくる。この時期を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

2019年度 第38回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児向けのお話を創作するときの留意点を述べたものである。正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。

- ア 教育的な内容を意識し、常に教訓的な内容を盛り込む。
- イ お話の内容は、聞き手が容易にイメージできるものにする。
- ウ できるだけ、身振りや手振りなどのジェスチャーを多く入れやすいものにする。
- エ 場面の展開が早く、多くの内容を盛り込んだものにする。
- オ 話しのリズムを作るためには、擬声語、擬態語、繰り返しが効果的である。
- カ わかりやすい言葉で、正しく美しい日本語を使う。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) はじめてのおるすばん      (2) 14ひきのあさごはん      (3) 100万回生きたねこ
- (4) はなをくんくん      (5) しまふくろうのみずうみ
- ア いわむらかずお      イ ルース・クラウス      ウ 佐野洋子
- エ 手島圭三郎      オ しみずみちお

3 次のことば遊びの名称を答えなさい。

- (1) ことばや文章などの中に、ある意味を隠して問いかけ、その意味を当てさせる。
- (2) 前のことばの終わりの音をとって、後のことばの初めに置きながら、ものの名を順々に言い続けていく。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

# 令和2年度 第39回 全国高等学校家庭科保育技術検定

## 言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児にお話しをするときの留意点について述べたものである。正しいものを三つ選び、記号で答えなさい。

- ア 幼児に<sup>げいごう</sup>迎合せず、心を込めてゆっくり、やさしく、甘えた話し方がよい。
- イ お話しのリズムを作るには、擬声語、擬態語などが喜ばれ、繰り返しも大切である。
- ウ お話しの間の取り方を工夫することは、内容をイメージ化するために大切である。
- エ 話し手は、お話の内容を自分のものになるまで、何度も音読しておく。
- オ お話しの語尾は、声を抑えたり強めたりして強調する。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) スイミー      (2) ごんぎつね      (3) だろんこハリー      (4) おおきなかぶ
- (5) はじめてのおつかい
- ア レオ・レオニ      イ 筒井頼子      ウ トルストイ      エ 新美南吉
- オ ジーン・ジョン

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 投影機を使い、光と影とのコントラストで物語を演じる方法を何というか。
- (2) 平面のうちわ人形を、裏と表にする「かえし」という手段で表現する方法を何というか。

### 解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1			2					3	
				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合	・	否
-----	--	---	---	---

令和2年度 第40回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は語りの台本の作り方について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

話の内容を決めたら、台本を作る。「ゆるやかにはじまりその後いろいろに( 1 )しながら山場を迎え、( 2 )に向かい結末につながる」という流れに沿っているものが聞きやすい。( 3 )と地の文で台本を書き表し、( 3 )を多くし表情豊かに語ることで( 4 )は少なくする。

- ア 失敗      イ 変化      ウ せりふ      エ 急速に解決      オ 説明

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) そらいろのたね      (2) おしいれのぼうけん      (3) 小人のくつや  
(4) おつきさまこんばんは

- ア 中川李枝子      イ グリム      ウ 林 明子      エ 古田足日

3 次のことば遊びの名称を答えなさい。

- (1) 遊びや身体活動に伴ってうたわれるもの。  
(2) ことばの音声やリズムの面白さを楽しむもの。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------



令和3年度 第41回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は語りの台本の作り方と語りについて述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

話の内容を決めたら、台本を作る。「ゆるやかにはじまりその後いろいろに変化しながら山場を迎え、急速に解決に向かい結末につながる」という流れに沿っているものが聞きやすい。せりふと地の文で台本を書き表し、せりふを多くし表情豊かに語ることで説明は少なくする。

台本の推敲が終わったら、話の( 1 )を頭に入れながら話を覚える。ことばを( 2 )するのではなく、場面ごとの( 3 )を頭の中に思い浮かべながら語るのがよい。全体を語り通す仕上げを繰り返し行くと、語りへの( 4 )が生まれる。

ア 骨組み      イ 自信      ウ 丸暗記      エ 情景      オ 満足

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) えんそくバス      (2) キャベツくん      (3) 100まんびきのねこ  
(4) いたずらきかんしゃちゅうちゅう

ア バージニア・リー・バートン      イ ワンダ・ガアグ  
ウ 中川ひろたか      エ 長 新太

3 次の問いに答えなさい。

- (1) 3歳ころには、「なぜ、どうして」といった、より複雑な質問が見られ始める。この時期を何と  
いうか。  
(2) 子どもを対象とした詩、小説などの読み物の総称を何と  
いうか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和3年度 第42回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は平成29年告示「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の言葉に関する内容について述べたものである。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

( 1 ) したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする  
( 2 ) や態度を育て、言葉に対する ( 3 ) や言葉で ( 4 ) する力を養う。

ア 感覚      イ 経験      ウ 表現      エ 意欲      オ 記憶

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) こすずめのぼうけん      (2) どろんここぶた      (3) ぐりとぐら      (4) 11ぴきのねこ

ア 馬場のぼる      イ 中川李枝子      ウ アーノルド・ローベル  
エ ルース・エインズワース

3 次の問いに答えなさい。

(1) 子どもの遊びの世界を広げ、豊かな成長を支えるために与えられた美術、音楽、玩具、遊具、紙芝居、絵本などを総称して何というか。

(2) かるた、絵かき歌、お手玉など子どもから子どもへ伝えられ、子どもの手によって作りかえられた遊びを何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第43回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文を読んで、空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

1992年イギリスのバーミンガムで「識字率向上」と「本を通して赤ちゃん楽しい時間を分かち合う」ことを目的に始められた教育改革運動を( 1 )運動という。

①家庭で読み書き能力の基礎を培う、②赤ちゃんの本の時間を持ち、( 2 )する。③本から得られる喜びや満足感を共有する、という3点を応援していくための活動である。

日本では、「( 3 )(2000年)」にこの運動が紹介された。日本では識字率向上というよりは、養育者と赤ちゃんの( 4 )の支援としての意味合いに重点を置いている。

- ア 子ども読書年      イ 習慣化      ウ 関係作り      エ 早期教育  
オ ブックスタート

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) 三びきのやぎのがらがらどん      (2) かばくん      (3) ティッチ  
(4) しょうぼうじどうしゃじふた

- ア 渡辺茂男      イ マーシャ・ブライン      ウ ハッチンス      エ 岸田衿子

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 演ずる人が手を人形の身体に入れ、指で操作する。  
(2) 胸当て式エプロンに背景を縫いつけ、ポケットから登場人物を取り出し、マジックテープでそこに付けたりはずしたりしながら物語を進めていく。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和4年度 第44回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の言葉による伝え合いの内容である。空欄に適するものを下記から選び、記号で答えなさい。

先生や友達と心を通わせる中で、( 1 ) や物語などに親しみながら、豊かな言葉や( 2 ) を身に付け、( 3 ) したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを( 4 ) ようになる。

ア 感覚      イ 表現      ウ 楽しむ      エ 経験      オ 絵本

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

(1) もりのなか      (2) ねずみくんのチョコキ      (3) ふしぎなえ

(4) しろいうさぎとくろいうさぎ

ア なかえよしお      イ ガース・ウィリアムズ      ウ 安野光雅

エ マリー・ホール・エッツ

3 次の遊びの名称を答えなさい。

(1) 幼児期に「ままごと」に代表されるような身近な生活をまねて行う。

(2) 数え歌やしりとりなどに代表される自分の覚えた言葉を組み合わせ、言葉のリズムや音声の組み合わせを楽しむ。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第45回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文はお話を創作するときの留意点について述べたものである。正しいものを4つ選び、記号で答えなさい。

- ア せりふを多く、説明を少なくして、想像しやすい情景にする。
- イ 聞かせる対象者を考慮し、登場人物や動物が身近なもので、内容はわかりやすいものにする。
- ウ 身振りや手振りを入れやすくし、場面展開を早くする。
- エ お話は、ゆるやかにはじまり、その後いろいろに変化しながら山場を迎え、急速に解決に向かって結末につなげるようにする。
- オ 流行の言葉や難しい表現を多く使って、子供の学習に結びつくようにする。
- カ お話の内容は、聞き手が容易にイメージできるものにする。
- キ 幼児教育として、必ず教訓的な内容をもり込むのがよい。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) ごちゃまぜカメレオン      (2) ちいさなうさこちゃん
- (3) モチモチの木              (4) もこ もこもこ

- ア 谷川俊太郎      イ エリック・カール      ウ 斎藤隆介      エ ディック・ブルーナ

3 次の言語表現活動の名称を答えなさい。

- (1) 手づかい、棒づかい、糸繰りなどの種類があり、保育現場では片手づかいが普及している。
- (2) ネル素材の舞台に、不織布で作った人形などを貼ったり、動かしたりしてお話を展開する。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
					(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------

令和5年度 第46回 全国高等学校家庭科保育技術検定

言語表現技術 1級 筆記問題

(制限時間10分)

1 次の文は幼児にお話をするときの留意点について述べたものである。正しいものを4つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話し手は、いつでも話せるお話の貯えを持っていて、自分の中で熟成させておく。
- イ 話し手は、お話の内容を自分のものになるまで、何度も音読しておく。
- ウ お話の元の形に手を加えて、幼児にあったアクセントや発音で話す。
- エ お話の語尾は、声を抑えたり強めたりして強調する。
- オ お話の間の取り方を工夫することは、内容をイメージ化するために大切である。
- カ お話の内容によって話す速さを使い分け、声色も大いに変えたほうがよい。
- キ 自然な表情で話し、オーバーなジェスチャーは不必要である。

2 次の物語の作者を下記から選び、記号で答えなさい。

- (1) エルマーのぼうけん      (2) アンパンマン      (3) きんぎょがにげた
- (4) 昆虫記

- ア フェアブル      イ 五味太郎      ウ R. S. ガネット      エ やなせたかし

3 次の問いに答えなさい。

- (1) 乳児期に発声する「バーバー」「アーアー」などの未分化な音声を何というか。
- (2) 2歳のころに「ブーブー、きた」と話すようになる。このような言葉の発達を何というか。

解 答 欄

学年		受検番号		名前	
----	--	------	--	----	--

問 題	1				2				3	
					(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)
解 答										
得 点										

合計点		合 ・ 否
-----	--	-------